

学校評価趣意書

令和6年 4月25日
尾道市立御調中学校

1 学校内外の状況

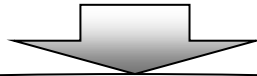
本校生徒は、基本的生活習慣が定着している生徒や判断力・社会性等も身に付いている生徒が多く、概ね落ち着いた環境の中で生活を送ることができている。一方、控えめで積極的に行動することを苦手とする生徒も少なからずいる。

学力面でみると、昨年度の標準学力調査の結果から、3学年は学力の向上が見られたものの全国平均値より下回っている。2学年は入学時、全国平均値より下回り、さらに3学期には全国平均値との差が開くなど、学力の向上は喫緊の課題となっている。また、正答率30%未満の生徒や学力の二極化傾向もあり、授業改善を早急に進める必要がある。

生徒は素直さと活力があるので、学習課題を生徒自らが設定し、見通しを持った学習ができるよう指導するとともに、学力向上の課題解決に取り組み、改善を図っていききたい。また、家庭学習の在り方を見直し、学習方略を身に付けさせたい。

このような状況を踏まえ、小中連携の一層の充実と連携型中高一貫教育の特色を活かした取組の改善・充実を図るとともに、御調地域学校運営協議会の支援を得ながら、12年間を見通した社会に開かれた教育課程となるよう取組を進め、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成していききたい。その育成の過程で生徒が地域をはじめとする他者に感謝の気持ちを持ち、その気持ちを行動に表すことで地域社会に貢献できる生徒の育成に取り組んでいきたい。

2 ミッション



「地域の教育力を生かした御調プライドを醸成する教育の推進」

3 ビジョン

【 安心・安全で、生徒が夢と志を抱き、心豊かに生き生きと活動する学校 】

【 自ら学び、考え、判断し行動する生徒を育成する学校 】

【 心豊かに、自他を尊重し、共に学び、高め合う生徒を育成する学校 】

4 重点課題

- ① 主体的に学ぶ力を育み、学習意欲の向上を通して学力の向上を図る。
 - ・ 主体的な学習態度の育成を目指すため、授業における学習課題（問い）の設定の工夫に取り組む。
 - ・ 基礎・基本の学力を身に付けさせるために、家庭学習の成果をアウトプット重視に改善し、学習時間の見える化を図り、生徒自身で学習を進めるとともに、「学力アップ講座」や「補充学習」によって、生徒の学習支援に取り組む。
- ② 生徒相互の関わりや地域の方々との交流を通して、自己有用感及び地域への愛着の向上を図る。
 - ・ 小中高連携や地域ボランティア活動の充実を図り、他者へ貢献することで自己有用感の涵養を図る。
 - ・ 総合的な学習の時間をはじめ、地域資源を活用した教育活動を設定する。
- ③ 業務改善を志向し、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指す。（働き方改革）
 - ・ 部活動時間の管理や部活動顧問二人体制の効果を活かし、部活動業務の改善を図る。
 - ・ 定時退庁日（水曜日）の実現に向けた取組（退庁時間の見える化等）を工夫する。
 - ・ 業務改善の具体的なアイデアを出し、実行する。